

# 令和2年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 第4学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<p>・1学期の達成率は、79%であった。漢字を正しく書くことに苦手意識をもつ児童がいる。また、語の意味を捉えること、文と文のつながり、修飾語の関係等、言葉の使い方等にも苦手意識が強い。</p> <p style="text-align: center;">【知識・技能】</p>	<p>・新出漢字の学習の際に、漢字や言葉の意味を取り上げ、覚えられるようにする。特に、和語の意味を具体例を踏まえて覚えられるようにする。定期的に小テストを行い、漢字の定着を図る。</p>
社会	<p>・1学期の達成率は、67%であった。学習問題に対する解決の意欲は高く、タブレットを使って調べることも得意な児童が多い。活発な活動に反して、学習の定着が低い。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p>	<p>・調べたことを全体で共有して理解を深めているが、個人で多くの情報から必要なことを読み取る力に課題がある。繰り返し資料を読む活動を繰り返し、読み取る力の向上を目指す。</p>
算数	<p>・1学期の達成率は、64%であった。問題解決の際、見通しをもって多様な考え方や表現の仕方をする事ができない児童がいる。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p>	<p>・既習内容を基に学習活動を進める事で見通しをもち主体的に問題に取り組めるようにする。自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりする事を通して、多様な考え方や表現の方法を身に付けさせていく。</p>
理科	<p>・1学期の達成率は、69%だった。学級で見出した問題に対する自分の考えを表現する際、これまでに学んだことや生活の中にあるきまり等と関連付けて表現することが難しい児童がいる。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p>	<p>・例年であれば、互いの意見を交流し、学び合う場面を設定することができるが、今年度は感染症予防対策のために、個人で考える場面が多く、グループでの交流がしにくい状況である。感染症対策を十分に行いながら、学び合える交流場面の在り方について考え、実現していく。</p>
体育	<p>・毎時間の授業の中で、めあて達成のためにどのように取り組んでいくかについて考えることが難しい児童がいる。また、意見を出し合い、運動を工夫していく場面でも、自分の考えを表現する力や意欲に個人差があるため、工夫して運動することが難しい児童がいる。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p>	<p>・互いの姿を見合う活動や自分自身の取り組む姿をタブレットPCで見る活動を通して、自らの課題を確認できる機会を設定する。互いのよさや改善点を伝え合う活動のほかにも、課題解決の方法を視覚的に捉えられるよう、ホワイトボードやタブレットPCの書き込み機能を利用する活動を設ける。</p>